

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【公開番号】特開2010-131757(P2010-131757A)

【公開日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2010-024

【出願番号】特願2008-307105(P2008-307105)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月2日(2011.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液体を噴射するヘッドと、液体を大気に開放しない状態で収容する第1、第2の液体収容部と、上記第1、第2液体収容部の少なくとも一方より上記ヘッドに連通する主連通路と、上記第1、第2の液体収容部間を連通する副連通路と、制御手段とを備え、上記制御手段は、上記副連通路を介して上記第1液体収容部より上記第2液体収容部に液体を補給する第1の液体補給制御と、上記副連通路を介して上記第2液体収容部より上記第1液体収容部に液体を補給する第2の液体補給制御とを交互に切換えることを特徴とする液体噴射装置。

【請求項2】

上記主連通路及び上記副連通路は開閉弁を備え、

上記開閉弁を上記制御手段により開閉するようにしたことを特徴とする請求項1に記載の液体噴射装置。

【請求項3】

上記主連通路は、上記第1液体収容部と上記第2液体収容部とを上記ヘッドを介して連通させる構成であり、上記副連通路は、上記第1液体収容部と上記第2液体収容部とを上記ヘッドを介さないで連通させる構成であることを特徴とする請求項1または2に記載の液体噴射装置。

【請求項4】

上記制御手段は、上記主連通路を介して上記第1液体収容部より上記第2液体収容部に液体を補給する第3の液体補給制御と、上記主連通路を介して上記第2液体収容部より上記第1液体収容部に液体を補給する第4の液体補給制御とを交互に切換えることを特徴とする請求項3に記載の液体噴射装置。